

議会からの5つの提言

議会基本条例に基づき、議員同士の討議を行い町長に対し、次の5つの提言を行いました。

職員研修

Q 更なる充実を

A 積極的に進めたい



山岸 宏議員

(質問) 新規採用職員、若手職員の研修は、民間企業の事前研修と比較すると少ないと感じる。今後、協働のまちづくりを進めていくためにも更なる充実が必要ではないか。

(答弁) 吉田町長 町独自の研修として、ごみ分別作業や花作業、更には介護体験などを実施し職員としての素養を身につける研修を行っている。若手職員の青年活動等へ

の参加や協働のまちづくりを進める上でも重要と考え、今後とも積極的に進めたい。

(質問) 今まで採用内定での研修は行っていないのか？

(答弁) 大井総務課長 今のところ行っていない。

(答弁) 吉田町長 成績が職員として問題があるようであれば、更に試用期間を6ヶ月延伸する。職員として基本的な素養を持っていない職員もいると考えているので、今後はしっかりと内部研修を通して身につけさせていきたい。

(質問) 今後更に研修、接遇、身だしなみには厳しく指導していただきたい。

(答弁) 小林教育長 指導していきたい。



自衛隊鹿追駐屯地での役場職員研修



飯沼新吾議員

町内会活動

Q 支援は出来ないか

A 更なる支援を進めたい

(質問) 行政区、町内会の活動は、町民が安全で安心して生活するためには、重要な役割を担っていると思うので、町としてその活動にアドバイスや活動費の助成などができないか。

(答弁) 吉田町長 町では、行政区長会議、主要懸案事項説明会などを通してまちづくりの課題共有や意見交換をしており活動補助金を交付している。

(質問) 町内会で住民がコミュニケーションを円滑にするような行事に対するメニューの提示やアドバイスができないか？

(答弁) 吉田町長 素晴らしい活動をしている地域もあるのでそれを模範として、行政側も共に学ぶという姿勢で地域のリーダーの養成、研修を行う必要があると考えている。



笹川地区の子ども相撲

☆提言1

姉妹友好都市の交流促進

民間交流が進められている東京都台東区との友好親善交流は、行政・議会・民間と一体となった一層の促進を。

(回答) 交流のより一層の促進を図りたい。互いに子どもの交流を推し進め、将来的に物産の販売を目指したい。

☆提言3

道々85号線鹿追糠平線の通年開通の模索を

然別湖と糠平をつなぐ道々85号線鹿追糠平線は、観光地を結ぶ道路であり、冬期間観光振興策のポイントとなる。通年開通の方向性の模索を。

(回答) 上土幌町、関係諸団体との情報交換、連携を取りながら進める。

☆提言4

企業(ホームセンター)進出

ホームセンターの町への進出は、利便性、雇用も生まれ、消費者の選択にもつながる。町有地との土地の賃貸契約は慎重に。

(回答) 出店には前向きな返事を行った。 ※面積3千350㎡、9月中のオープンを予定。

☆提言2

鹿追町民花火大会の継続

鹿追町のイメージアップにも繋がり経済波及効果も見込まれるため継続的な開催が必要。開催周知もPR活動を重ねて早期に推進することが重要。

(回答) 町外からの来客も大勢見込め、経済波及効果が見込まれる。新年度3百万円を予算化、花火募金等も検討。 7月28日(土)開催を予定。



然別湖

☆提言5

農家周辺の環境整備の推進

農家周辺の環境整備は防疫の視点からも鹿追町農業を守るため、農村と都市の在り方の全国のモデル的な事業として推進を。

(回答) 農村と都市の在り方に必要な計画を一年かけて策定(町・大学・営対協)。景観、環境、衛生等全体を考慮し、交流人口の増も模索する。



つぶやき

■パン用小麦「ゆめちから」。鹿追でも今秋から播種。面積は十勝1。モチモチ、しっとり、小麦の味が際立つ。